

Hachioji 路線バスツアーアー with 外国人観光客

八王子から Hachioji へ

創価大学國島ゼミ B チーム ※グループのみ

都田浩暉¹⁾, 上野正明¹⁾, 野田湧樹¹⁾, 楊歛¹⁾, 浜中直樹¹⁾

指導教員 國島弘行²⁾

1)創価大学 経営学部 経営学科 國島ゼミ

2)創価大学 経営学部経営学科 教授

キーワード：外国人観光客、グローバル化、学生の英語力向上、インバウンド需要

はじめに

現在日本では外国人観光客が増加の傾向にあります。その影響でインバウンド需要等の経済的メリットが発生しており、政府が出した 2016 年度インバウンド消費額は 約 3 兆 7000 億円との指標も出ています。それに平行し、観光客のための言語対応の対処等の新たな需要も続々と生まれています。

その影響を受け、八王子の地でも外国人観光客が急増している事は周知の事実です。八王子が誇る大きな観光スポット「高尾山」は世界一の登山者数を誇り、フランスのミ シュラン社が発行する「ミシュランガイド」でも 2007 年から連続して三ツ星に輝いており、日本国内の山で三ツ星に輝いたのは 富士山と高尾山のみでした。

このように現在でも、十分に素晴らしい観光資を保有しております、観光客に対する設備も整っています。

1.現在の観光における提案

前述のように八王子は外国人観光客が増えており、今後とも増えていく傾向が伺えます。それを踏まえ、私たちはさらに八王子の魅力を知つてもらいたいと思いました。なぜなら、この広大でいくつもの観光名所が存在するのにも関わらず、そのごく一部しか知れ渡ってないからです。

その解消の為に提案するプランが「Hachioji 路線バスツアーアーwith 外国人観光客」です。

これは、八王子市民から募集した「外国人を見てほしいマイナースポット」を募集し、それを元に学生が企画、そして、ガイド役として英語が堪能な学生と共に既存の交通機関の主に路線バスを利用して八王子を回るというものです。

2.なぜ、路線バスなのか

それは、滝山城跡や、富士美術館など、高尾山以外の観光名所が回るとなると、少し徒歩や自転車では遠いことも理由にあげられますが、路線バスでの移動中でも八王子の魅力を堪能できると私たちちは思ったからです。

八王子は自然が豊かです。それに、四季もはつきりと姿を見せ、春には桜、夏には新緑や祭り・花火、秋には 紅葉、冬には雪景色と、バスの中から見る景色だけではありません。その魅力はガイドとの世間話であったり、バスの車内の風景であったり、同乗する八王子市民であったりと、八王子での生活そのものが、魅力としてなりえます。このプランの魅力は全ての外国人観光客に当てはまると言う訳ではありません。しかし、このスロートリップ、のんびりした旅に魅力を感じる人は一定数いると思われます。

3.提案実行によるメリット

このプランには実行するに辺り、いくつもの副産的なメリットも発生します

一つは、八王子の大学生の語学力やコミュニケーション能力の向上を狙う目的があります。学生の身分としてはたとえ高い語学能力を持っていたとしても、経済的理由や時間的制約、そして需要の不明確性によりその能力を發揮できる「実践の場」が乏しいのが現状です。そこで、専属ガイド及び何かしらの交流の場を設けることによって、外国人観光客に「日本の若者」と触れ合える場を設けるに加え、多くの大学を有する八王子だからこそその魅力を發揮できると思われます。

二つ目に、八王子市民にも八王子を盛り上げる当事者としての意識の向上があります。外国人観光客に見てもらいたい、勧めたいという八王子市民としての誇りをあげ、実際に来てもらえることによってのライブ感を狙います。加えて、第一次産業従事者と協力した、農業・畜産体験や歴史保存団体など、地元ならではの団体と共に一魂となって八王子を盛り上げていけると確信します。

むすび

多くの外国人観光客にとって障害となるのがまず言語の壁です。八王子市民とのコミュニケーションが取れなければ外国人観光客は単なる傍観者として、八王子を観察するだけで終わってしまいます。自発的に魅力を感じるのは難しいものです。八王子に住む人・八王子を良く知る人がその「魅力」を伝えてこそ、その場所に深いアタッチメントを感じ、想いを馳せることに繋がるはずです。加えてこのプランを実行することにより、交流を通じて八王子市は、高い英語力と異文化理解を身につけたグローバル人材を獲得し、市民、学生、外国人観光客を通じて八王子から Hachiojiへグローバル都市という新たなプランディングを発信することができます。

